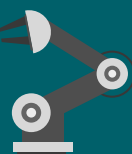


株式会社コスモ技研 連載コラム



COSMO
Engineering.co.,LTD.
Series column VOL.6

コスモ技研とは？

コスモ技研はロボットによる無人化を中心としたF Aエンジニアリング会社です。航空・重工業・化学・食品医療・医薬業界の無人化システムや大規模自動化設備など、国内初のシステムを含め、最先端のロボットシステムを全国に数多く納入している会社です。



日本におけるロボット事情

日本におけるロボット事情として、日本の製造業の成長率が横ばいになっていて、家電などいくつかの分野でのシェアにおいて韓国・中国勢が中心になってきているのはここ最近でもよく聞くお話かと思います。今後は、自動車産業もEV（いわゆる電気自動車）時代、に突入し競争が激化されるという、非常に大きな危機を日本の自動車産業が迎えようとしています。もともとコストパフォーマンスが良かったことで勢いのあった日本の製造業ですが、格安製造を行う中国勢や、プレミアム路線で強いドイツ勢に挟まれていて、両方からシェアが奪われて行っているのが、現状です。

下記のデータの出所は、経済産業省「ロボット産業市場動向 2016」、と（社）日本ロボット工業会「産業動向レポート 2017」を基に弊行が作成した資料です。

こちらのデータを見ると、日本のロボット技術は世界的に見ても高く、産業用ロボットの出荷額に占める日本企業のシェアは57%と、世界で1番となっています。

しかし、IoTに関しては、取り組みの状況としては米国、イギリス、ドイツが約9割の企業で取り組みを始めたと言われる中、日本は出遅れていて、実に6割程度の企業がやっとのことで取り組み始めている状態が、現在の日本におけるロボット産業の実態です。そんな日本のロボット産業の状況を解決すべく、コスモ技研ではAI、IoT、ビッグデータを活用したロボットシステムの研究開発に力を入れております。

日本のロボット技術は高く出荷額は世界一

産業用ロボット出荷総額に占める
日本企業のシェア（電子部品実装機含む）

総出荷額
134 億ドル

43%
海外企業

57%
日本企業

世界4大ロボットメーカー

安川電機（日本）
ABB（スイス）
ファナック（日本）
KUKA（ドイツ・中国）

日本の主要ロボットメーカー

安川電機（日本）
川崎重工
不二越
エプソン

